



2019～2020年度RIテーマ

ロータリーは世界をつなぐ
ROTARY CONNECTS THE WORLD

鳥取西ロータリークラブ週報 No.1860

鳥取西ロータリークラブ例会／毎週金曜日 12:30～13:30 ホテルニューオータニ鳥取
事務所／〒680-0822 鳥取市今町2-112 アクティ鳥取ビル2F Tel.0857-22-4418 Fax.0857-22-4419

[ホームページ] <http://www.twrc.jp> [Eメール] info@twrc.jp

創立／1980年6月13日 RI加盟承認・1980年8月6日 2019～2020年度国際ロータリー会長／マーク・ダニエル・マローニー

会長／岩崎陽一・副会長／油谷博文・幹事／児島 良・会計／米花廉友

2019～2020 THE ROTARY CLUB OF TOTTORI WEST WEEKLY REPORT

第1861回例会

2019年8月9日(金) 12:30～13:30

点鐘

ロータリーソング “我等の生業”

会食 (中華)

会長会務

* ビジター・ゲスト紹介

直前ガバナー補佐 嶋田耕一氏
米山奨学生 蔡 卓乗さん
大井 駿さん

* クラブの週例会について。

「今年度は楽しい例会にしたい」ほとんどの年度の会長さんはそう思い、努力をされていると思います。しかし、あっという間に1年が過ぎていきます。楽しい例会にする責任は、会長にあります。そしてそれを支えるのがプログラム委員会です。では会員が満足する「楽しい例会」とはどのような例会でしょうか。

◎それは、会員一人ひとりが例会に参加していると感じる例会です。

◎そして、会員一人ひとりが実際に参加する例会にすることです。

◎また、ロータリー情報、職業情報を常に伝える例会にすることです。

◎それにより、会員にとって役に立つ例会にすることです。そのような例会にするにはどうするか・・・例会プログラムについては6ヶ月間の大まかなプログラムを作成し、次は3ヶ月間のより具体的なプログラムを作ります。

その元になるのは、全ての小委員会の活動です。その全小委員会を1ヶ月または最低2ヵ月に1回開いてもらいます。委員会で討議したことなど例会で報告し、例会を組み立てれば楽しく役に立つ例会になると思います。

* 8月の誕生祝いを差し上げます。

伊木恭憲 上野賢治 金田卓也 竹内一昭
土江富夫 葉狩弘一 矢谷英志の各会員
バースディソング斉唱

幹事報告

* 例会後、クラブ奉仕委員長会議を開催します。

委員会報告

* 親睦出席委員会

出席率・スマイル報告

卓話 「アートを通じて世界の子供たちへ」

エアブラシアアーティスト 高橋 康晃 氏

先週(第1860回例会)の記録

2019年8月2日(金) 12:30～13:30

会長会務

本日は、ガバナー補佐訪問となっております。ガバナー補佐の村木晴一さん、随行員の八島弘明さん、八渡和仁さんにお越し頂きました。遠くからありがとうございます。

国際ロータリー(以下RI)はRI定款・細則に従って現に存在するロータリークラブによって構成されています。会長にはクラブの運営を管理する責任がありますが、会長が一番偉いのではなく、理事会が管理の主体となります。クラブ会長はクラブ全体を指導する能力を持ち、会員の尊敬と信頼を有するものとあり、いつでもクラブを指導し、クラブを運営するのに必要な時間と労力が必要となり、任務に付く前年度の実施期間を総じて役目を務めたことのある者となっています。その他の条件として、主体となる委員会の委員もしくはクラブの幹事を務めた経験のある者、例会には必ず出席し、クラブの定款・細則について役立つ知識のあるものとなっています。なかでも、PETSと地区研修・協議会への出席は必須条件です。クラブの流れは会長の形式と熱意によって左右されます。世界は絶えず変化し、また、ロータリーの歴史も何度でも書き換えられなければならないとポール・ハリスが言っています。

クラブ会長は激動するクラブの変化に応じた奉仕活動・地域社会、国際情勢を的確に把握し、ニーズを分析し、的確な奉仕活動をクラブへ指導しなければなりません。そのために自己のクラブを知るためには、会員を維持し増強することが重要であり、5大奉仕を踏まえ、ロータリー財団への寄付を行うことが必要です。

西ロータリークラブは会員が一番多いときは74名でしたが、現在では59名となっています。ガバナー年度には75名は必要となりますので、皆様のご協力をお願いします。

幹事報告

* 地区大会申し込み期限は8月9日、事務局まで。

登録料、ゴルフ・エクスカージョン参加料、宿泊料は8月23日例会に集金します。

*** 例会変更のお知らせ**

鳥取北RC 8月27日(火) 納涼夜間例会

鳥取RC 8月29日(木) 夜間例会

ビジター受付は、定時定例会場にて

*** 配布物：WEBサイトURL訂正シール**

月信のファイルに貼ってください。

*** 東部5RC会長・幹事会の報告**

①5クラブ合同例会 2020年2月21日(金)

ホテル・ニューオータニ 担当：鳥取中央RC

②東部5クラブゴルフコンペ

2019年11月17日(日) 担当：鳥取RC

③合同IMについて

第1グループ開催時は各クラブ全員登録する

④鳥取西RCからの提案について協議

東部5クラブゴルフコンペを年2回にする件：

承認された。来年5月～6月開催。

米山交流会開催の件：開催することが決定。

10～11月に開催予定。鳥取西RCが担当

* 会員名簿の確認・校正をお願いします。

* ゴルフ同好会総会 8月6日 18:30～

花のれん本店

出席率

8月2日 会員59名 欠席10名 82.76%

ビジター

倉吉RC 3名

メーキャップ会員

7月29日 油谷博文会員 鳥取中央RCへ

スマイル

* 村木晴一ガバナー補佐／本年度第1グループのガバナー補佐を務めます。よろしく願い申し上げます。

* 八島弘明さん(倉吉)／本日はおじゃまします。
* 岩崎陽一会長／①村木晴一ガバナー補佐様、八島弘明随行者様、八渡和仁随行者様、本日はご苦労様です。②納涼例会参加の皆様、ありがとうございました。③納涼例会会長会務、酔っていて申し訳有りません。以後注意します。

* 油谷博文副会長／村木ガバナー補佐様、八島随行者様、八渡随行者様、本日はありがとうございます。

* 児島 良幹事／村木ガバナー補佐並びに随行者の八島弘明様、八渡和仁様、ようこそお越し頂きました。

* 吉田 博会員／①村木ガバナー補佐様、八島様、八渡様、本日はご指導ありがとうございます。②ゴルフ写真ありがとうございます。

* 森下哲也会員／村木ガバナー補佐様、本日はありがとうございました。

* 徳吉公司会員／ガバナー補佐村木様、随行者の皆様、本日はありがとうございます。

* 幡 碩之会員／吉田さん、岡本さんお世話になりました。

* 葉狩弘一会員／親睦委員ですので、たまには、スマイルに協力します。

* 米花廉友会員／親睦委員会の皆様、夜間例会あ

りがとうございました。

* 平野敏和会員／①岩崎会長、ありがとうございました。②牧浦さん、すいませんでした。ありがとうございます。

* 山下聖児会員／平野さん、ありがとうございました。

* 森原義博会員／先日の納涼の夕べの企画運営等、親睦出席委員会の皆さま楽しかったです。ありがとうございました。

* 牧浦康寛会員・市場康稔会員・上野賢治会員／山下竜一さん、写真ありがとうございました。

* 牧浦康寛会員／①納涼の夕べ、ありがとうございました。②幡先生、吉田さん、岡本さん、ありがとうございます。

* 早退 1件 合計42,000円

* R財団特別寄付：1件

ゴルフ・スマイル

* 倭島昭博会員／麻木先生ホールインワン記念ゴルフコンペの写真をありがとうございました。

社会奉仕委員会 山村委員長

山陰海岸ジオパーク砂丘清掃 9月8日(日)

多数ご参加、お願いします。

雑誌委員会 竹内委員

今年から宜しく願います。今月は会員増強推進月間となっています。Rの友8月号紹介。

卓話 第1グループガバナー補佐 村木晴一氏

こんにちは。本年度第1グループのガバナー補佐を務めます村木です。本日は非常に緊張しておりますが、1年間宜しく願い致します。

鳥取西ロータリークラブは、ガバナーノミニを輩出されており、これからの2～3年は非常に大変ではありますが、どうか岩崎ガバナーを支えていかれますよう宜しく願い致します。倉吉クラブもガバナーを輩出し、その辺りの苦労はよく分かっておりますが、徹底してどうか皆様協力して頂き、ロータリーのため、地区のために、ご尽力頂ければと思っています。また鳥取西ロータリークラブは発足今年で39年であり、来年は40周年ですので、それも壮大にやられないといけないと思います。見たところ若い方も多いことですので、ご尽力されまして、40周年を迎えられるようお願いいたします。先程のクラブ協議会でいろいろと話を伺いましたが、クラブを盛り上げられ、ロータリーにご努力されておられ、感心致しました。

本日はガバナーの代理として、ガバナーの意向をお伝えしに参りました。私が倉吉クラブに入り、約30年経ちまして、最初の方はいつ止めようかと思っておりましたが、なんと30年経って、こんなことを申し上げる立場になってしまいました。では、資料に従って説明致します。

以下、資料説明を行われました。

次回例会予定

2019年8月23日(金) 第1862回例会

古瀬俱之ガバナー公式訪問

(編集者 山田 光成)